

# 渡辺 敏雄 博士 年譜・著作目録

## 〈年 譜〉

1955（昭和30）年12月17日 三重県に生まれる

### [学歴]

- |                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 1974（昭和49）年3月  | 三重県立上野高校卒業               |
| 1974（昭和49）年4月  | 一橋大学商学部入学                |
| 1978（昭和53）年3月  | 一橋大学商学部卒業（商学士）           |
| 1978（昭和53）年4月  | 一橋大学大学院商学研究科修士課程入学       |
| 1980（昭和55）年3月  | 一橋大学大学院商学研究科修士課程修了（商学修士） |
| 1980（昭和55）年4月  | 一橋大学大学院商学研究科博士課程入学       |
| 1983（昭和58）年3月  | 一橋大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学   |
| 2002（平成14）年10月 | 関西学院大学 博士（商学）            |

### [職歴]

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1983（昭和58）年4月 | 香川大学経済学部専任講師         |
| 1984（昭和59）年6月 | 香川大学経済学部助教授          |
| 1996（平成8）年3月  | 香川大学経済学部教授           |
| 1999（平成11）年4月 | 関西学院大学商学部教授          |
| 2002（平成14）年4月 | 関西学院大学大学院商学研究科教務学生副主 |

任

2004年3月まで

2007（平成19）年4月

関西大学商学部非常勤講師

2008年9月まで

2010（平成22）年4月

関西学院大学商学部学生主任

2012年3月まで

2010（平成22）年4月

神戸学院大学経営学部非常勤講師

2012年3月まで

2020（令和2）年4月

関西大学商学部非常勤講師（大学院商学研究  
科科目担当）

現在に至る

[所属学会]

日本経営学会

1980年9月～現在、理事2016年9月～2019年9月、  
常任理事2019年9月～2022年9月

経営学史学会

1996年5月～現在、理事2008年5月～2011年5月、  
副理事長2017年5月～2021年5月

日本会計研究学会

2000年9月～現在

## &lt;著作目録&gt;

## — 著 書 —

- |                            |        |          |
|----------------------------|--------|----------|
| 『管理論の基本的構造－論理・観点・体系－』      | 税務経理協会 | 1995年4月  |
| 『管理論の基本的構造－論理・観点・体系－〔改訂版〕』 | 税務経理協会 | 2000年11月 |
| 『日本企業社会論』                  | 税務経理協会 | 2008年4月  |
| 『現代経営経済学の生成－方法論的展開－』       | 文眞堂    | 2022年3月  |

## — 編 著 —

- |           |     |          |
|-----------|-----|----------|
| 『社会の中の企業』 | 文眞堂 | 2021年12月 |
|-----------|-----|----------|

## — 翻 訳 書 —

- |   |      |          |
|---|------|----------|
| キーザー、クビチェック著、田島壯幸監訳、神田良と共訳<br>『組織理論の諸潮流 I－科学理論的必要条件と古典的諸研究方向の批判的分析－』  | 千倉書房 | 1981年12月 |
| キーザー、クビチェック著、田島壯幸監訳、神田良と共訳<br>『組織理論の諸潮流 II－最近の社会科学的諸研究方向の批判的分析－』  | 千倉書房 | 1982年6月  |
| ピコー、ディートル、フランク著、丹沢安治、榊原研互、田川克生、小山明宏、宮城徹と共訳<br>『新制度派経済学による組織入門』第6章「企業の内部領域としての組織」第1節「企業組織の基本原則」、第2節「さまざまな組織形態」担当 | 白桃書房 | 1999年6月  |

## — 分担執筆書 —

- |  |       |         |
|--|-------|---------|
| 深山明、海道ノブチカ編著『経営学の基礎』第7章「経営管理論」   | 同文館出版 | 2003年1月 |
| 片岡信之、海道ノブチカ編著『現代企業の新地平－企業と社会の相利共生を求めて－』第5章「現代企業社会の特質と管理活動－ハンス・ウルリッヒの見解を中心に－」 | 千倉書房  | 2008年8月 |

深山明、海道ノブチカ編著『基本経営学』 第9章「組織」	同文館出版	2010年2月
海道ノブチカ編著『ゲーテンベルク』 第6章「方法論争から見た意思決定志向的経営経済学」	文眞堂	2013年5月
経営学史学会編『経営学の批判力と構想力』[第23輯] 第5章「管理論・企業論・企業中心社会論－企業社会論の展開に向かって－」	文眞堂	2016年5月

## — 論 文 —

「ドイツにおける意志決定志向的組織論に関する一考察」	『一橋研究』（一橋大学大学院）第5巻第2号（通巻48号）	1980年9月
「行動理論的経営経済学の検討－ギュンター・シャンツの学説を中心にして－」	『一橋研究』第7巻第3号（通巻57号）	1982年10月
「応用経済科学としての経営経済学の成立根拠－L.J. ツィークラーの見解を中心に－」	『研究年報』（香川大学経済学部）第25号	1986年3月
「管理論としての経営経済学に関する考究（1）－ウェルナー・キルシュの見解を中心に－」	『香川大学経済論叢』（香川大学経済学会）第59巻第1号	1986年6月
「管理論としての経営経済学に関する考究（2・完）－ウェルナー・キルシュの見解を中心に－」	『香川大学経済論叢』第59巻第2号	1986年9月
「行動理論的経営経済学に関する考究－ギュンター・シャンツの見解を中心に－」	『香川大学経済論叢』第60巻第3号	1987年12月
「意思決定過程論における組織目標の意味」	『香川大学経済論叢』第60巻第4号	1988年3月
「組織と組織的意思決定過程－意思決定過程論における組織把握の構想を巡って－」	『香川大学経済論叢』第61巻第3号	1988年12月
「組織における社会化と交渉－意思決定前提の発生過程を巡って－」	『香川大学経済論叢』第62巻第2号	1989年9月
「Die Laufbahn der Forscher in Japan – Im Vergleich mit deutschen Verhältnissen –」	『香川大学経済論叢』第64巻第4号	1992年2月
「Zur Struktur der Betriebswirtschaftslehre als Führungslehre – der frühe Kirsch in den siebziger Jahren im Mittelpunkt –」	『香川大学経済論叢』第65巻第1号	1992年6月

「Zur Handhabung von Problemen in Organisationen – Grenzen des Modells der zwischenmenschlichen Einflußnahme –」	『香川大学経済論叢』第65巻第3号	1992年12月
「ドイツ企業管理論の検討方法に関するノート – 今野登教授の近著を巡って –」	『香川大学経済論叢』第65巻第4号	1993年3月
「Das Wesen der fortschrittlichen Organisation」	『香川大学経済論叢』第66巻第2号	1993年9月
「管理論としての経営経済学の基本的構造」	『香川大学経済論叢』第66巻第3号	1993年12月
「管理論における進歩能力のある組織の構想 – 構想の成立と位置づけを巡って –」	『香川大学経済論叢』第67巻第2号	1994年10月
「組織的現象の説明方法 – 現代ドイツ経営学における人間像に関連づけて –」	『香川大学経済論叢』第68巻第2・3号	1995年11月
「組織における収束性と多様性 – 管理活動の基本的構造 –」	『香川大学経済論叢』第70巻第2号	1997年9月
「理想的組織像と管理の課題」	『香川大学生涯学習教育研究センター研究報告』第3号	1998年3月
「組織変更を巡る実証的研究について – マイヤーとガベールの見解を中心に –」	『商学論究』(関西学院大学商学研究会)第48巻第1号	2000年6月
「進歩能力のある組織と合意形成能力 – キルシュの管理論を中心に –」	『商学論究』第49巻第1号	2001年6月
「大企業体制論の基礎的社会観 – ペーター・ウルリッヒの見解を中心に –」	『商学論究』第50巻第1・2号	2002年12月
「大企業体制論の企業指導理念 – ペーター・ウルリッヒの見解を中心に –」	『商学論究』第50巻第3号	2003年2月
「歴史的実践的な科学と企業体制論の方法 – 板垣与一教授の見解からの示唆 –」	『商学論究』第51巻第4号	2004年3月
「営利原則と管理論 – 管理論と企業を巡る学 –」	『商学論究』第52巻第3号	2005年1月
「科学史方法論とドイツ企業管理論史 – ジャンパウル・トーメンの見解を中心に –」	『商学論究』第53巻第3号	2005年12月
「科学史方法論とドイツ企業管理論史(続) – ジャンパウル・トーメンの見解を中心に –」	『商学論究』第54巻第3号	2007年1月
「システム志向的経営経済学に関する考究 – ハンス・ウルリッヒの見解を中心に –」	『商学論究』第56巻第2号	2008年11月

「企業社会と家族生活」	『商学論究』第57巻第4号	2010年3月
「経営学原理の対象と方法－村田和彦氏の見解を中心に－」	『商学論究』第60巻第1・2号	2012年12月
「経営学原理における労働と商品－村田和彦氏の見解を中心に－」	『商学論究』第60巻第3号	2013年2月
「企業社会と感情管理－アーリー・ホックシールドの見解を中心に－」	『商学論究』第61巻第4号	2014年3月
「商品としての感情－アーリー・ホックシールドの見解を中心に－」	『商学論究』第62巻第1号	2014年7月
「マクドナルド化の概念－ジョージ・リッツァの見解を中心に－」	『商学論究』第64巻第1号	2016年7月
「マクドナルド化と企業社会－ジョージ・リッツァの見解を中心に－」	『商学論究』第64巻第2号	2017年1月
「意思決定過程論を巡る方法論争」	『商学論究』第64巻第3号	2017年1月
「科学史方法論と現代経営経済学史－永田誠氏の見解を中心に－」	『商学論究』第66巻第3号	2019年3月
「管理論としての経営経済学を巡る方法論争」	『商学論究』第69巻第1号	2021年7月
「穏健な主意主義と組織変更」	『商学論究』第70巻第1・2号	2022年12月

—— 辞典項目執筆 ——

田島壯幸責任編集『経営学用語辞典』 「アクション・リサーチ」、「意思決定論的経営学」、 「最適規模」、「最適操業度」、「最有利操業度」、 「市場生産」、「受注生産」、「操業度」	税務経理協会	1997年8月
経営学史学会編『経営学史事典』 「ウルリッヒ」、「キルシュ」	文眞堂	2002年6月
吉田和夫、大橋昭一 [監修]、深山明、海道ノブ チカ、廣瀬幹好 [編]『最新 基本経営学用語辞典』 「株式」、「株式の種類（種類株式）」、「株主権」、 「機関株主（法人株主）」、「擬制資本」、「個人株主」、 「債券」、「自己株式」、「社債」、「授権資本制度」、 「ストック・オプション」、「増資と減資」、「第三 者割当」、「他人資本」、「長期資本」、「内部統制」、 「ボーナス・ペナルティ・システム」	同文館出版	2010年3月

- |  |       |         |
|--|-------|---------|
| 経営学史学会編『経営学史事典』[第2版]<br>「ウルリッヒ」、「キルシュ」、「ハイネン：『経営経済学入門』」  | 文眞堂   | 2012年5月 |
| 吉田和夫、大橋昭一 [監修]、深山明、海道ノブチカ、廣瀬幹好 [編]『最新 基本経営学用語辞典』[改訂版]<br>「株式」、「株式の種類（種類株式）」、「株主権」、「機関株主（法人株主）」、「擬制資本」、「個人株主」、「債券」、「自己株式」、「社債」、「授権資本制度」、「ストック・オプション」、「増資と減資」、「第三者割当」、「他人資本」、「長期資本」、「内部統制」、「ボーナス・ペナルティ・システム」 | 同文館出版 | 2015年3月 |

## — 書 評 —

- |  |                       |         |
|--|-----------------------|---------|
| 「小島三郎著『現代科学理論と経営経済学』（税務経理協会、昭和61年7月刊行）を読む」 | 『香川大学経済論叢』<br>第60巻第4号 | 1988年3月 |
|--|-----------------------|---------|